

平成 28 年度事業報告及び収支決算報告

I 平成 28 年度事業報告

平成 28 年度は、公益社団法人森林保全・管理技術研究所と改組したことにもない、諸規程の制定、新たな公益事業の開拓等、実施体制の整備に努めてきたところである。

森林保全・管理技術研究開発事業については、後期五カ年計画の 3 年目として平成 28 年度森林保全・管理技術研究開発事業実施基本方針に基づいて、実質的な調査研究等を進めているところである。27 年度で終了した「治山施設の点検・補修等手法の開発に関する調査研究」及び「地すべり対策技術の現状と今後のあり方に関する調査研究」のうち「平成 25 年版治山技術基準解説地すべり防止編手引き」については、その成果を普及啓発活動に活用することとして印刷製本したところである。

また、公益性・中立性の高い技術指導の一環として、昨年を引き続き「国有林野測定事業における審査業務」を受託事業として実施するとともに、デジタルアーカイブについては、外部からの検索機能利用システムの開発を行い、試行の準備を進めたところである。

1. 総会・理事会等

(1) 総会

1) 通常総会

開催日 平成 28 年 6 月 13 日 (月) 15:00~17:00

開催場所 日林協会館 4 階中会議室

議題 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び収支決算報告
第 2 号議案 その他

(2) 理事会

1) 第 1 回理事会

開催日 平成 28 年 5 月 16 日 (月) 15:00~17:00

開催場所 日林協会館 4 階中会議室

議題 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び収支決算報告
第 2 号議案 その他

2) 第 2 回理事会

開催日 平成 29 年 3 月 17 日 (金) 15:00~17:00

開催場所 日林協会館 4 階中会議室

議題 第 1 号議案 平成 29 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案)
第 2 号議案 その他

2. 事業報告

(1) 森林保全・管理技術に関する調査研究、技術開発

本年度は、後期五カ年計画に基づき、昨年度から継続する下記の課題について調査研究を行った。

- ① 地すべり対策技術の現状と今後のあり方
- ② 高能率作業システムと森林基盤整備のあり方
- ③ 木材生産林における水土保全技術の確立
- ④ 里山における森林整備のあり方
- ⑤ 森林調査等におけるレーザ計測（航空・地上）活用手法の開発

(2) 森林保全・管理技術に関する資料・文献の収集、整理保存及びその集積・分析

引続き森林保全・管理技術デジタル・アーカイブのシステム開発・改良を行い、本年度は外部からの検索機能利用システム実用化のために、賛助会員の協力による試行のためのシステムの開発を行ったところである。

また、地方の行政機関等からの資料・文献の収集をこれまで以上に促進することとし、関係機関への協力依頼を行ったところである。

(3) 森林保全・管理技術に関する情報提供、普及啓発

本年度は、「地すべり対策技術の現状と今後のあり方に関する調査研究」（平成 25 年版治山技術基準解説地すべり防止編手引き）及び「治山施設等の点検補修等手法の開発に関する調査研究」について報告書を作成し、印刷製本して普及啓発活動に活用することとしている。

前者の「地すべり対策技術の現状と今後のあり方に関する調査研究」については、(4) に記述してあるように CPD 研修会を実施したところである。

(4) 森林技術者の専門技術の向上及び継続教育に関する支援

森林・自然環境技術者教育会(JAFEE)の森林分野 CPD と連携して、次の CPD 研修会を実施したところである。

① 森林土木事業技術講習会(前橋)

日時：平成 28 年 10 月 28 日

場所：前橋市：前橋テルサ

講師・演題：

- (1) 「群馬県の治山事業と災害について」
鈴木秀雄（群馬県環境森林部森林保全課長）
- (2) 「関東森林管理局管内の治山事業について」
岡本雅人（関東森林管理局計画保全部治山課長）
- (3) 「降雨および森林が斜面崩壊に与える影響評価の試み」
執印康裕（宇都宮大学農学部森林科学科教授）

② 「平成 25 年版治山技術基準 解説（地すべり防止編）手引き」講習会

日時：平成 28 年 12 月 15 日

会場：前橋市：前橋さくらホテル

講師・演題：

- (1) 地すべり対策技術の現状と今後のあり方に関する調査研究「地すべり防止編」手引き作成の趣旨説明、
河合英二 ((公社) 森林保全・管理技術研究所)
- (2) 事業の定義及び目的、地すべり調査解析（総説～地下水調査）
黒川 将 (国土防災技術 (株))
- (3) 地すべり調査解析（地表移動量・地中変動量調査及び機構解析）
滝口 潤 (明治コンサルタント (株))
- (4) 地すべり防止工測量および水路工・治山ダム工等の計画設計
矢野間敬男 ((株) 森林テクニクス)
- (5) 地すべり防止工事計画と地すべり防止工の設計
榎田充哉 (国土防災技術 (株))

(5) 科学技術についての技術者、研究者及び教育者等との連携による調査研究及び提言活動

(1) の調査研究、技術開発事業を通じて技術者、研究者及び教育者等との連携による調査研究活動を行ってきたところである。

(6) 行政施策又は社会貢献に資する公益性・中立性の高い調査研究及び技術指導

森林調査、測量設計等、その成果の技術的妥当性が社会的に多大な影響がある事案について中立的な立場で審査・保証等を必要とする場合には、研究所がこれに対応することが出来るよう体制の整備を図ることとし、その実態を把握に努めてきたところである。

この中で、「国有林野測定事業における審査業務」については、関東森林管理局管内における審査業務を測量業者からの受託業務として実施したところである。